



面会の大切さ

夏祭りの太鼓がひとしきり聞こえてくる季節となりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか？

シャローム横浜では、3月末より3階フロアで角化型疥癬の感染が確認され、その後、多くのご利用者に症状がみられました。しかし、皮膚科往診医の指示のもと、治療を進めた結果、6月25日の感染症対策委員会において終息が宣言されました。これにより、面会やショートステイ利用などの制限も解除され、ご利用者は日常の生活を取り戻すことができました。

・この終息は、医療・介護・清掃・相談などの多職種が力を合わせて対応してきたことに加え、ご家族・後見人の皆様、地域のケアマネジャーや医療機関など、多くの方々のご理解とご協力があったからこそ実現したものです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

2019年末からのコロナ禍では、行政の指導により面会制限が行われ、当施設でも、それまで自由に行っていた面会を大きく制限せざるを得ませんでした。

した。一方で、看取り期の面会については、ご家族に後悔を残していただきたくないとの思いから、感染対策を講じながら継続して実施してきました。感染症による面会制限は、ご利用者やご家族のみならず、職員にとっても非常に大きな影響があったと実感しています。

感染に弱い立場の方々への命と健康を守ることは、もちろん重要です。しかしその一方で、大切な人に会えることは、その人らしく今日や明日を生きるために欠かせない営みでもあります。

今後も新たな感染症が流行する可能性はあります。だからこそ、手洗い・換気・消毒など基本的な感染対策を徹底し、感染経路を正しく理解しながら、ご利用者・ご家族・職員の健康を守るとともに、「大切な人と会える」というご利用者の権利を守る施設であり続けたいと願っております。

猛暑が続いておりますが、皆様の健康と穏やかな日々が守られますよう、心よりお祈り申し上げます。

施設長 高原 信夫

新しい仲間を迎えて



季節が変わり、山本職員が入職して4ヶ月目を迎えました。

学生から社会人になって変わったことは？と質問すると、「今までは親がやってくれたことを、自分でやるようになったこと」と答えてくれました。

また、「今後はどんな職員になりたいですか？」という質問には、「ご利用者に安心して任せてもらえる職員になりたいです」と答えてくれました。

成長していく山本職員に、温かいお声かけと応援をよろしくお願いします！！

デイサービス主任 木下 順子



第 312 号

令和8年7月15日発行

(毎月1回15日発行)

責任者:施設長 高原 信夫

〒241-0802

横浜市旭区上川井町 1988

社会福祉法人アドベンチスト福祉会

シャローム横浜

☎045-922-7333

編集委員 原田・石川・石橋

[https://www.adventist-](https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/)

[welfare.jp/yokohama/](https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/)



ショートステイの歩みと七夕の願い



昨年度は延べ 628 名（月平均 52 名）の皆様にご利用いただきました（同一の方が複数回ご利用された回数を含みます）。また、新たに 56 名の方とご契約を結び、8 名の方がショートステイから本入所へとつながりました。

それぞれの生活やご事情に寄り添いながら、ご利用者にもご家族にも安心していただけるよう、これからもお手伝いしてまいります。

先日の七夕では、ご利用者が一文字一文字丁寧に短冊へ願いごとを書かれていました。皆様の願いがかなうことを、職員一同願っております。

相談企画主任 ショートステイ担当 山本 朋子

夏の味覚をお届けしました



7 月の栄養課主催行事は「夏野菜」でした。例年はとうもろこしと枝豆ですが、今年は趣向を変えて、とうもろこしとトマトのコンポートを提供させていただきました。

トマトのコンポートは、湯むきしたトマトをシナモンの香るシロップに、レモンと一緒に漬け込みました。夏の始まりにふさわしい、色鮮やかな一品になったかと思います。

来月の栄養課主催行事は「あんみつ屋台」です。

栄養課 廣澤 美貴



土曜日、合同礼拝の御報告

先月、皆様のご理解、ご協力のもと、実に約 4 年ぶりに、特養 3 階、4 階のご利用者と共に、合同のシャローム礼拝を持つことができました。出席者は、スタッフ、ボランティアの方々と合わせて、なんと 32 名となりました。これだけの方たちと礼拝を共に持たせて頂いたことは、本当に久しぶりのことでもあり、声を合わせて讃美歌を歌う事が出来たことを、心より神様に感謝いたします。

ただ、いつもと違った体制での開催となったことに加え、会場の準備や音響などにおいて準備不足な点もあり、いくつかの課題にも気づかされました。これらの不足していた点を改善し、次の集まりでは、さらによい会場づくりに励んでいきたいと思えます。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜ります。

第 220 回 チャプレン 上前 至

く、よろしくお願い致します。

特に、この日の為に、ご利用者のご家族が、お忙しい中、貴重なボランティアの時間を割いてお手伝いいただいたことに、心より感謝申し上げます。ご家族の方々のお手伝いなくしては、到底、実現できなかった礼拝であった事もお伝えしておきたいと思えます。本当にありがとうございました。

これからも、毎月第 3 週目、4 週目の土曜日は合同で礼拝を行っていく予定です。引き続き、皆様のご協力とご理解をいただきつつ、まずはここに感謝のご報告とさせていただきます。

